

真田氏上州への最大拠点
天険の要害

いわびつじょう

岩櫃城

※この絵はイメージです。
裏面の要害地区略図とはリンクしていません。

平成28年 NHK大河ドラマ
「真田丸」放送



本丸

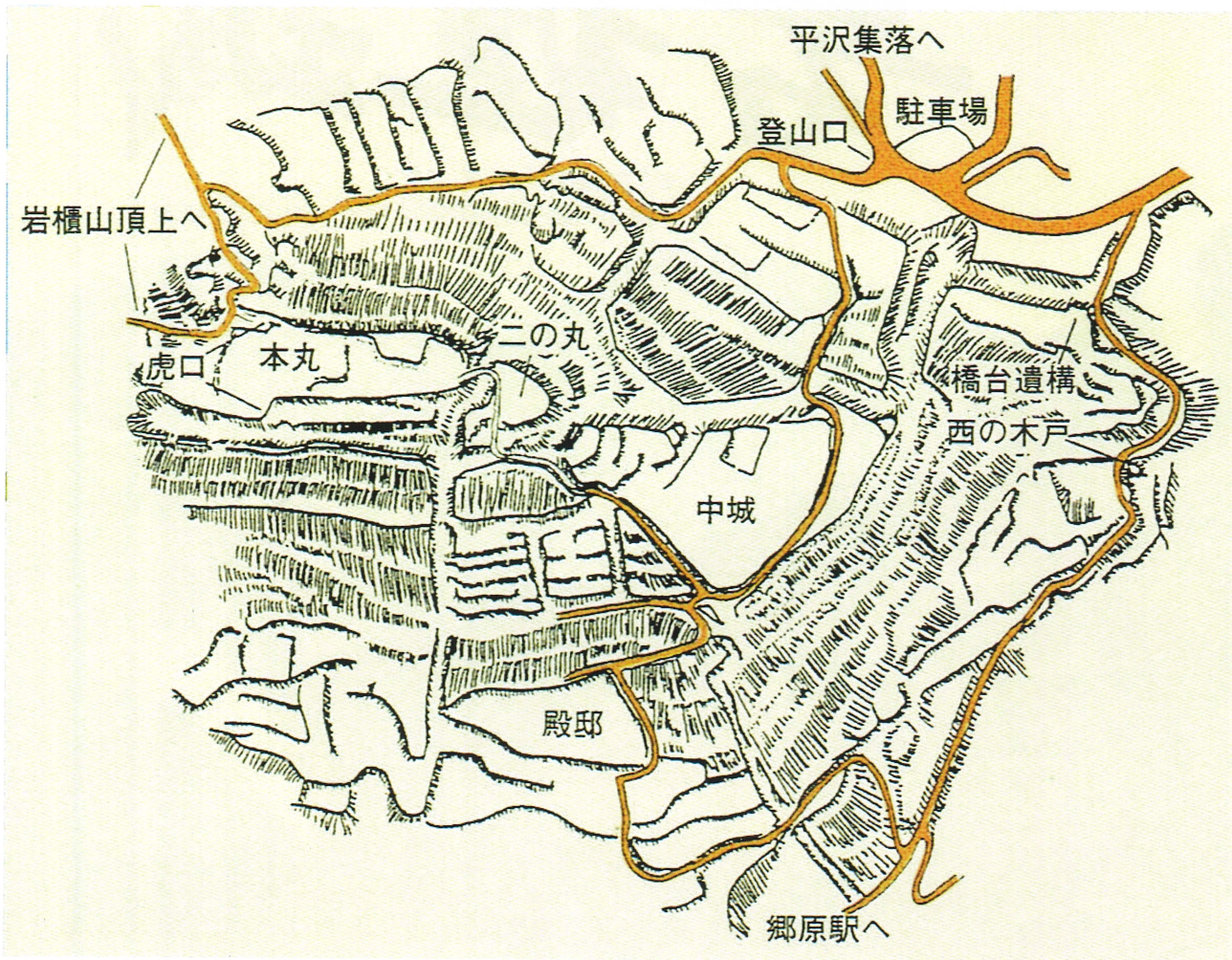
二の丸

中城

殿邸



要害地区略図



吾妻町教育委員会 発行

町の郷土カルタで詠まれる「岩櫃城」。

旧吾妻町の町村合併40周年記念事業の一環として発行された「吾妻町かるた」でも、岩櫃城の歴史が詠まれています。



戦国の
昔をしのぶ
岩櫃城

戦国の 昔をしのぶ 岩櫃城
岩櫃城は一四世紀頃築かれた代表的な山城で、吾妻郡の政治・軍事の中心であった。多くの伝説に包まれて、城主も吾妻太郎の名で知られている。後には武田信玄の支配に属し、久能城（静岡県）、岩殿城（山梨県）と共に武田氏の三名城の一つと言われた。武田氏の没落後は真田氏の城となり、元和元年（一六一五）に廃城となった。

作成：東吾妻町観光協会（平成28年1月発行 第二刷）

〒377-0801群馬県吾妻郡東吾妻町大字原町626-2 TEL: 0279-70-2110